

ボート部・カヌー部代表者 各位

KUWANO FAX 通信

<Vol. 94>

2013 / 2 / 20 発行

編集 武藤 智子

BOAT TIMES

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL : 077-573-8001 FAX : 077-573-8002

URL : <http://www.k-boat.co.jp> E-mail : kuwano@k-boat.co.jp



この時期、年度末もここまでせまり、学校や企業のボート部さんからもいろいろご注文もいただき大変ありがとうございます。桑野では毎日、艇の生産を続けていますが、海外からの輸入艇・オールも扱っています。写真はドイツからの輸入艇の入荷状況です。コンテナ内にぎっしり並んだ艇を、社員総出で慎重に搬出していきます。コンテナから降ろした後には入荷検査が待っています。リギングを確認し、ご注文いただいたとおりの仕様・艤装になっているか、傷・不具合がないかなどを点検し、取り扱うすべての艇の品質の向上に努めています。 【小澤】

●ボートコース敷設の原則 その2 【古川】

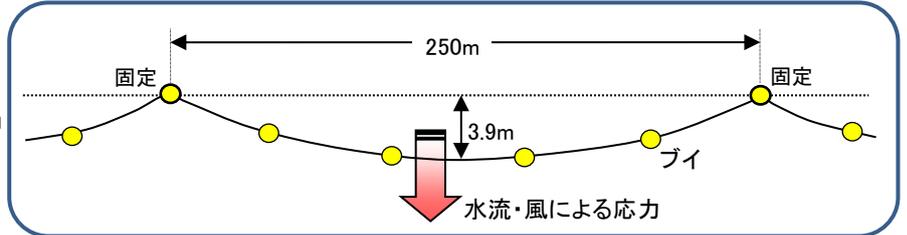
コースロープの敷設の原理・原則のうち今回は張力について説明したいと思います。コースロープは自身が受ける水流による力とブイが受ける水流及び風の力により、横に流れてしまいます。原理的に横流れを完全に無くすることはできません。横流れ量はコースロープの固定距離の自乗に比例し、張力に反比例するので、横流れを少なくするためにはコースロープの張力を上げるか、固定部位のスパンを短くする必要があります。

$$\text{横流れ量 (m)} = \text{単位長さあたりの受ける力 (kg/m)} \times \text{ロープ長さ}^2 \text{ (m}^2\text{)} \div 8 \times \text{コースロープの張力 (kg)}$$

ボート競技ではレーン境界ブイの直径は150mmで、柔らかい材質であることが規定されています。またブイからコースロープまでの深度は通常2mです。大型船舶の横断があるときはさらに深く設置することも可能ですが、ブイが横流れする度合いが増えます。これらのことから、コースに新しくブイを入れる際にはそのコースに適したコースロープの張力を考え、ロープを選択する必要があります。

(例) 固定ブイのスパン : 250m
コースロープの張力 : 100kg
水流と風による単位長さあたりの応力 : 50kg/m
と仮定すると

↓
中央部の横流れ量 3.9m



※詳しい説明は弊社HPに掲載していますので、そちらをご覧ください。

●分割艇製作中

現在、桑野では新しく1X分割艇の開発をしています。簡単に車などに乗せていろいろな水域へ漕ぎに行けるように、既存の分割艇よりも分割・組立がしやすい構造を目指して作っています。写真は製作途中の写真です。3月には1号艇の試漕を予定しています。まだまだ試作段階なので仕様や価格などは決まっていますが、リリースが決まった時は、本誌でご紹介させていただきたいと思います。

皆様、楽しみにお待ちしております！



●お知らせ

* 第13回メンテナンス講習会が開催されました

1月25日~27日にかけて、毎年恒例のメンテナンス講習会がおこなわれました。今年は全国各地から18名ものご参加をいただき、修理の基礎について学んでもらいました。サンプルピースで練習してもらったあと、艇を使って実習をしてもらいました。

皆さん四苦八苦しながらも熱心に取り組んでくださいました。

* ロンドン五輪DVD入荷しました！

皆様、お待たせしました！ついにロンドン五輪DVDが入荷しました。価格は8,400円(税込・送料別)となっております。数に限りがございますので、ご購入を予定されている方はお早めに弊社までご連絡ください。

* ご注文はお早めに

入荷までにお時間をいただく商品がございます。年度内納品をご希望の方は、お早めにご連絡ください。

また、選抜大会で現地受渡しを希望される場合もお早めにご一報ください。



BOAT TIMES の配信停止をご希望される方は、お手数ですがFAX(077-573-8002)またはE-mail(kuwano@k-boat.co.jp)で弊社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。次号は3/19発行予定です。